

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|--------|---|
| 会議名 | 令和2年度第1回 高松市図書館協議会 |
| 開催日時 | 令和2年8月3日(火) 午後3時～午後4時35分 |
| 開催場所 | サンクリスタル高松 3階 第1集会室 |
| 議 題 | (1) 令和元年度事業報告について (2) 令和元年度図書館評価について |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由 | 高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針に基づく |
| 出席委員 | 田崎委員、岡田委員、笠井委員、澤田委員、渡邊委員、福山委員 石原委員、徳山委員、藤本委員、水谷委員、中島委員、宮本委員 |
| 傍聴者 | 2人 |
| 担当課連絡先 | 中央図書館 861-4501 |

審議経過及び審議結果

- 1 開会
- 2 議事
 - 議題1 令和元年度事業報告を行った。
 - 質疑 障がい者サービス事業について、対応するボランティアさんなどは、十分な人数を確保できている状況なのか。
 - 回答 現在、対応いただけるボランティア団体をお願いして事業を行っております。市図書館の事業として、今後の障がい者サービスについては、読書バリアフリー法も含めて障がい者サービスをどのように充実していくか他市の状況等を把握する中で検討してまいりたい。
 - 議題2 令和元年度図書館評価の説明を行った。
 - 質疑 図書館ブックの充実について電子ブックの統計は、入ってこないのか。
 - 回答 電子図書については、今後の課題としたい。
 - 質疑 ホームページアクセス数の達成率については、あまりにも目標が高すぎると諦めてしまうことになっては意味がないので、近年の状況を見て変更しても良いのではないか。
 - 回答 この目標値は、過去5年間の数値を基にしたもので、過去のデータの良いものに乗せして少し高い目標を設定したもので、この目標に向かって進めてまいりたい。
 - 質疑 ビブリオバトルについては、最近の取り組みであり、短期で評価せずに長い期間で評価をしていくべきではないか。
 - 回答 今は、試行段階であり、数値目標を無理がないよう取り組んでまいりたい。
 - 質疑 レファレンスサービスの拡充については、レファレンスのデータベースをエクセルへ移行によって利用者が図書館システムで対応し、国会図書館が持っているレファレンスのデータベースを見ることができるようになるものか。
 - 回答 レファレンスサービスのデータをエクセルに移行するのは、レファレンスの担当者が迅速に過去の事例等を把握できるようエクセルデータで対応するものであり、利用者を対象としたものではないが、段階を踏んで取り組んでまいりたい。
 - 質疑 先にあったボランティア養成講座の参加人数について、参加人数のみでは状況の把握が弱い感じなので、登録者数など実績もとりにいれてはどうか。
 - 回答 ボランティア養成講座については、講座の参加者数だけでなく、「養成する。」「育てていく。」というところに目標を置いて回数や実施方法についても今後十分に検討していきたい。
- 3 その他
 - (1) 図書館のネーミングライツについて
 - ・説明を行った。
 - (2) 高松市第6次総合計画について
 - ・説明を行った。
- 4 閉会